



みやこユニバーサルデザイン  
10年の歩み



京都市  
CITY OF KYOTO

# 京都市みやこユニバーサルデザイン 推進条例10年を迎えて



京都市長 門川 大作

年齢や性別, 言葉, 心身の状態など, あらゆる違いを越えて誰もが暮らしやすい社会を築く。そうした素晴らしい「ユニバーサルデザイン」の理念を京都のまちづくりに積極的に取り入れ, その取組を広く発信するとの決意の下, 平成17年に当時の政令市では初の「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」を制定して10年が経ちました。

この間に, 多くの市民, 関係者の皆様と知恵と力を結集することにより, 人にやさしいサービス, 誰にとっても分かりやすい案内サイン, 地下鉄の転落防止柵など取組は着実に前進しました。これら10年間の軌跡を幅広い方々と共有し, これから未来へ向けて行動の輪を一層広げていきたい。そんな思いを込めて, この度この記念誌をまとめました。

近年, 国内外問わずこれまで以上にお客様がお越しになり, 同時に「京都に住みたい!」という方も増えています。大変嬉しい限りです。そして今後, 東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模なイベントを通じて, 京都のまちの注目度もますます高まるものと見込まれます。そのような中, 「みやこユニバーサルデザイン」を様々な形で更に具体化し, 市民の皆様も観光客の皆様も快適に過ごせる魅力的なまちをつくることの意義は, 極めて大きいと考えています。

多くの方にとって, この記念誌を目にされることが, 身近なユニバーサルデザインを改めて見つめ直し, 住む人にも訪れる人にもやさしい京都のまちの将来像に思いを致す, さらには行動実践されるきっかけとなることを念じています。

## これからの“みやこユニバーサルデザイン”について

塚田 章（みやこユニバーサルデザイン審議会 会長）

京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例が施行されてから10年が経過しました。その間様々な取り組みがなされ、みやこユニバーサルデザインという言葉が広く定着してきたと実感します。しかし、ユニバーサルデザインという考え方は海外よりもたらされた概念で、新しいものであると受け止めてしまうと見誤りが生じます。日本は文化が途絶える事無く綿々と育まれて来ておりそれは世界に類を見ないものです。日本にはおもてなしという言葉に代表される、他者を愛でる気配り等はあった訳で、今日、ユニバーサルデザインとして評価されるものは、日本で既に為されている中にたくさん在るのです。これからの“みやこユニバーサルデザイン”を考えると、京都で育まれてきた文化に目を向けてユニバーサルデザインをより日本の生活に相応しい概念として成長させてゆくことは重要です。また、海外からの観光客の増加が見込まれていますが“みやこユニバーサルデザイン”が果たす役割は大きくなっていると感じます。

## みやこユニバーサルデザインの輝きをすべての人に届けたい

森本 一成（京都工芸繊維大学 副学長）

みやこユニバーサルデザイン推進条例の骨子を作る段階からその議論に参加させて頂くと共に、平成17年から平成26年までの10年間、みやこユニバーサルデザイン審議会に携わらせて頂きましたことに、深く感謝いたします。初代会長の水谷幸正先生の絶妙で的確な運営を引き継ぐ形で、平成23年から4年間、会長をお引き受けしました。委員のみなさまからは常に建設的なご意見ならびにご指摘を賜りましたことに御礼申し上げます。

みやこユニバーサルデザイン推進指針に沿って様々な企画を提案させて頂きました。たとえば、まだどの大学にも開講されていなかったユニバーサルデザインの講義を、京都市のご支援でいち早く京都市の大学生向けに開講し、みやこユニバーサルデザインの考えを広く伝えると共に、その講義録「実践ユニバーサルデザイン」を編纂しました。今読み直しても、みやこユニバーサルデザインの真髓ここにありと言える内容と思います。この講義は現在、本学の講義演習科目として開講されており、みやこユニバーサルデザインの考え方や実践の成果を紹介するたびにその輝きを放っています。今後もその輝きが磨かれ、すべての人に届くことを願っています。



# 目次

みやこユニバーサルデザインの誕生	1
みやこユニバーサルデザイン10年の主な取組	2
冊子等の紹介	4
こんなことをしてきました	6
私たちのまちのユニバーサルデザイン	11
こころのユニバーサルデザイン	16
参考資料	
みやこユニバーサルデザイン推進条例	17
審議会委員名簿	19

## ユニバーサル デザイン とは

一般に「すべての人のためのデザイン」と言われ、アメリカの建築家でノースカロライナ州立大学のユニバーサルデザインセンター長であったロン・メイス氏らによって提唱された考え方です。「すべての人にとって、できる限り利用可能であるように、製品、建物、環境をデザインすることであり、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要なものであってはならない」と定義されています。

# みやこユニバーサルデザインの誕生



## みやこユニバーサルデザインとは

長寿化, 少子化, 情報化, 国際化といった社会経済状況の変化の中で, 京都が有する多様かつ豊かな蓄積に, 年齢, 性別, 国籍, 文化, 心身の能力や状態といった人の様々な特性や違いにかかわらず, だれにとっても安全, 簡単, 快適, 最適であることを目指すユニバーサルデザインの考え方を採り入れた社会環境づくりです。

## みやこユニバーサルデザイン推進条例の制定



みやこユニバーサルデザイン  
シンボルマーク

ここ京都は, 長い歴史の中で育まれてきた支え合いの精神, 芸術, 技術等の京都が有する多様かつ豊かな蓄積により, 個性豊かで先駆的な生活文化を生かした活力ある社会が築かれてきました。このような京都が情報化, 国際化, 少子長寿化その他の社会経済情勢の変化の中で, 将来にわたって, 活力ある社会を形成し続けるためには, 市民一人一人の多様な価値観や暮らし方が尊重されるようにしなければなりません。

本市では, 京都が有する多様かつ豊かな蓄積にユニバーサルデザインを取り入れ, 年齢, 性別, 言語, 習慣, 心身の状態にかかわらず, すべての人にとってできる限り生活しやすい社会環境の整備に積極的に取り組むこととし, 平成 17 年 4 月に京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例を施行しました。

## みやこユニバーサルデザイン推進指針の策定

条例の趣旨を具体的行動へと橋渡しすることを目的として, ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策や仕組みづくりを総合的に実施するための方向性を示すものとして, 平成 17 年 12 月に京都市みやこユニバーサルデザイン推進指針を策定しました。この指針では, 条例で責務や役割を定められた本市, 事業者, 市民, 観光旅行者その他の滞在者の各主体が, 各分野でどのような行動や活動を協働して進めていくのかを示しています。



京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例及び同推進指針に基づいて, 10年間, 様々な施策や事業を展開して, その普及推進に努めてきました。

# みやこユニバーサルデザイン 10年の主な取組

京都市では、平成13年度に策定された「京都市基本計画」をはじめ、様々な計画やプランにおいて、ユニバーサルデザインの考え方や実践の必要性を掲げ、その取組を進めてきました。

## 平成16年度

平成16年

4月 京都市保健福祉局保健福祉総務課にユニバーサルデザイン担当新設

5月 京都市社会福祉審議会「ユニバーサルデザイン推進条例検討専門分科会」設置、条例制定に向けた活発な意見交換を行うためのワークショップを開催

11月 「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」への意見を募集

平成17年

2月 京都ライトハウス見学会&シンポジウム「ユニバーサルデザインって何?~さまざまな視点から~」開催

## 平成17年度

平成17年

4月 **「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」施行(政令指定都市初)**

大学コンソーシアム京都の講義「実践ユニバーサルデザイン」開講(京都工芸繊維大学提供)

6月 「京都市みやこユニバーサルデザイン審議会」設置

8月 みやこユニバーサルデザインの紹介(京都市ラジオ人権啓発番組に出演)

10月 公開フォーラム 2005「伝統文化と暮らしのユニバーサルデザイン」開催

11月 京都市人権連続講座「知りたい ききたいユニバーサルデザイン」開催

12月 「京都市みやこユニバーサルデザイン推進指針」策定

## 平成18年度

平成18年

5月 「みやこユニバーサルデザイン賞」創設

6月 審議会内に「利用しやすい施設づくり部会」、「ユニバーサルデザイン賞審査部会」設置

8月 「みやこユニバーサルデザインアドバイザー派遣制度」創設

10月 「第2回国際ユニバーサルデザイン会議 2006 in 京都」開催

「みやこユニバーサルデザインシンボルマーク」決定

平成19年

2月 京都市ラジオ広報番組「明日への歩み」でユニバーサルデザイン特集を放送

3月 「見つけたよ! 京都のユニバーサルデザイン」発行

## 平成19年度

平成19年

5月 京都市テレビ広報番組「京のまち」でユニバーサルデザイン特集を放送

## 平成20年度

平成20年

4月 「ユニバーサル上映補助制度」創設

「わかりやすい印刷物の作り方」発行

7月 「みやこユニバーサルデザインフォーラム」開設

## 平成 21 年度

平成 21 年

4月「ユニバーサル上映をつくろう」発行

平成 22 年

2月「中学校美術ユニバーサルデザイン授業ガイドブック」発行

3月「ユニバーサルデザイン 消費者啓発」講座開設

## 平成 22 年度

平成 22 年

11月「人にやさしいお店をつくろう」発行

平成 23 年

2月「人にやさしいサービス宣言」開始

3月「見ないで楽しむ京の旅」発行

## 平成 23 年度

平成 23 年

6月「京都市みやこユニバーサルデザイン推進主任会議」設置

平成 24 年

3月「もっと、みんなと、コミュニケーション」発行

「消費者が見た聞いたユニバーサルデザイン」発行

## 平成 24 年度

平成 24 年

10月 京都市開催の「福祉のまちづくり大都市連絡会議」

京都市みやこユニバーサルデザインとその実践について紹介

平成 25 年

3月「みやこユニバーサルデザイン人にやさしい施設づくり事例集」作成

## 平成 25 年度

平成 26 年

3月「京都市みやこユニバーサルデザインかるた」作成

## 平成 26 年度

平成 27 年

3月「みやこユニバーサルデザイン京都フォーラム 2015」開催(新聞掲載)

## 平成 27 年度

平成 27 年

6月 京都市施設の多機能トイレの利用に係る表示の統一

7月 磁気誘導ループの貸出開始

平成 28 年

3月「みやこユニバーサルデザイン 10年の歩み」発行





# 冊子等の紹介

## 【平成17年度】

みやこユニバーサルデザイン  
推進指針



京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例の趣旨を具体的な行動へ橋渡しすることを目的として、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策や仕組みづくりを総合的に実施するための方向性を示した冊子です。

## 【平成18年度】

見つけたよ！  
京都のユニバーサルデザイン



京都のユニバーサルデザインを探しながら、みんなが暮らしやすい「ところ」「もの」「ところ」を考える冊子で、観光、交通、まちなか、建物、家の中について、それぞれのユニバーサルデザインを紹介した冊子です。

## 【平成20年度】

わかりやすい  
印刷物のつくり方



わかりにくい、読みにくいなどの問題が生じないように、はじめからできる限りすべての人にわかりやすい印刷物などのつくり方を示したヒント集です。

## 【平成21年度】

ユニバーサル上映を  
つくろう



情報のユニバーサルデザインとして、映画を楽しんでもらうために、日本語字幕と音声ガイドを付与する方法等を紹介した初の冊子です。

## 【平成21年度】

ユニバーサルデザイン  
授業ガイドブック



中学校の美術の授業にユニバーサルデザインを題材として取り入れ、創造的な技能を高めたり、身の回りのデザインに対する見方を広げることができるようになるためのガイドブックです。

## 【平成22年度】

人にやさしい  
お店をつくろう

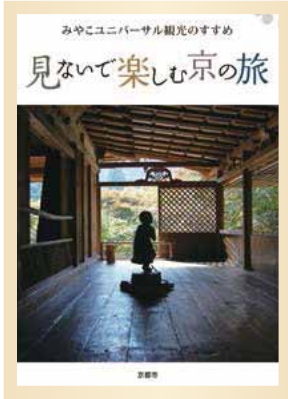


これまでお店等を利用できなかった(しにくかった)方々が安心してサービスを受けることができるよう、「人にやさしい」ユニバーサルデザインのお店づくりのためのヒント集です。



## 【平成22年度】

見ないで楽しむ京の旅



「見る」こと以外の四感を研ぎ澄ませて京都を楽しむことで、「見なくても」「見えなくても」同じように京都を楽しむ方法を示して、観光のユニバーサルデザインを推進するきっかけの一つになることを目的に作成した冊子です。

## 【平成23年度】

もっと、みんなと、コミュニケーション



コミュニケーションにおけるお客様の隠れた「困った」にスポットをあて、誰もが快適にお店や施設を利用しやすい環境づくりのためのポイントをまとめた冊子です。

## 【平成23年度】

消費者が見た聞いたユニバーサルデザイン



様々な立場の消費者が集まり、消費者のためのワークショップでの議論をもとに、製品、お店、情報・サービスや心のユニバーサルデザインについて、検証したものをまとめた冊子です。

## 【平成24年度】

みやこUD人にやさしい施設づくり事例集



さまざまな人が利用する施設等について、みやこユニバーサルデザインを踏まえた望ましい対応や手法等を広く紹介するために模範的な整備事例を示した冊子です。

## 【平成24年度】

みやこUD人にやさしい施設づくりのススメ



## 【平成25年度】

京都市  
みやこUDかるた



遊びながら学べるという点に着目し、ユニバーサルデザインの考え方や、「京都の文化から知ることができるユニバーサルデザイン」を組み込み、ユニバーサルデザインに関心のない方にも自然にその考え方が伝えられるよう作成したものです。



# こんなことをしてきました



## みやこユニバーサルデザイン審議会の設置，運営

平成17年6月に、「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」の規定に基づき、学識経験者、各分野の代表者、市民公募委員などから構成される「京都市みやこユニバーサルデザイン審議会」を開催し、みやこユニバーサルデザインの進捗状況の報告や推進に関する意見などを今後の推進方策に反映するようになっています。

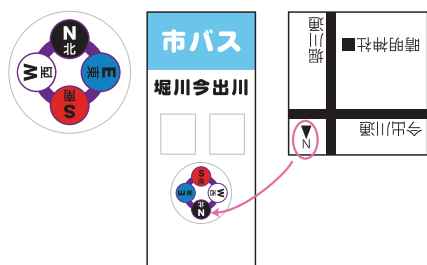
また、特別の事項を調査し、審議会で議論することが妥当と考えられるものについて、平成18年度から「みやこユニバーサルデザイン賞審査部会」及び「利用しやすい施設づくり部会」を設置しています。

## みやこユニバーサルデザイン賞の募集，表彰

生活の中のユニバーサルデザインとして、このようにすればみんなが使いやすくなる、わかりやすくなるというアイデアを募集し、みやこユニバーサルデザイン審議会の審査を経て、多くの応募作品から選ばれた優秀作品を表彰しています。  
(平成26年度実績 応募総数802件)

## 過去5年間みやこユニバーサルデザイン大賞作 (平成23年度、平成25年度は大賞なし)

### 【平成22年度大賞】



ちずピタ  
(原明美様)

東西南北を示すシールをバス停等に貼り、観光客がバス停等から進む方向を間違えないように(地図と実際の方角を合わせられるように)するアイデアです。

### 【平成24年度大賞】



みんなで楽しもう  
「セロ弾きのゴーシュ」  
(京都リップル様)

映画の分野で広がりつつあるユニバーサル上映の考えを広げ、障害の有無や年齢に関らず、誰もが芸術・娯楽を楽しめるよう日本語字幕付朗読と生演奏と人形劇を実施する企画です。

### 【平成26年度大賞】



東山観光支援コミュニティ  
(東山観光支援コミュニティプロジェクトチーム  
京都産業大学経営学部松高ゼミ様)

「東山観光支援コミュニティ(愛称：京都・東山おもてなし隊)」は、東山に訪れた誰もが安心して観光できるように、介助や荷物の一時的預かりなど、各自でできるちょっとした工夫や親切で観光客をおもてなしする東山のお店や観光施設等で作るコミュニティです。

## 利用しやすい施設づくりのための事前意見聴取及び工事完成後の現地視察

不特定多数の市民が利用する駅舎やバスターミナルの新築等に対し、京都市が建築主に対して、京都市みやこユニバーサルデザイン審議会の意見を聴く場の設定に協力を求め、工事着手前に同審議会の意見が反映されるよう、また工事完了後の同審議会の意見が同様の案件の参考として活用されるよう働き掛けています。

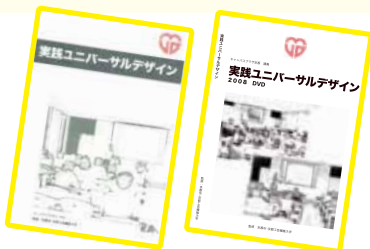


< 現地視察風景 >

## 2

### 実践ユニバーサルデザイン

「実践ユニバーサルデザイン」はキャンパスプラザ京都で開講された「京カレッジ」の講義の一つとして、平成17年度から京都工芸繊維大学が担当しました。講師には大学教員、福祉関係者、障害者、建築士、デザイナーなどの様々な分野から専門家をお招きし、週替わりで授業をする形式をとりました。この講義は京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例の施行にあわせて企画されましたが、ユニバーサルデザインの啓発活動を継続して推進するために、現在は京都工芸繊維大学で開講されています。



< 実践ユニバーサルデザイン講義録及び DVD >



< 実践ユニバーサルデザインの授業風景など >

## 3

### ユニバーサルデザインアドバイザーの派遣

ユニバーサルデザインを採り入れたものづくりやサービスに取り組もうとする企業や団体、そして学習の一環として取り組もうとする学校の要請に基づき、市内外の研究者、実践者を京都市の負担で派遣し、必要な助言や支援を行うことにより、派遣先企業・団体の取組促進や児童・生徒への教育による普及啓発を図っています。(派遣例:「ユニバーサルデザインの概要・地域社会とのつながり」、「ユニバーサルデザイン誕生物語」、「人にやさしいお店をつくろう」、「わかりやすい印刷物・掲示板の作り方」など)



< ユニバーサルデザインアドバイザー派遣の様子 (南太秦小学校) >



## 4 みやこユニバーサルデザインフォーラムの協働支援

「すべての人にとってできる限り生活しやすい社会」の実現のため、所属や立場、専門等が異なる様々な方の交流と協働を通じて、「人にやさしいお店」の情報収集・発信や啓発冊子の作成等、ユニバーサルデザインに関する市民の主体的な取組を充実、発展させることを目的としています。



## 5 みやこユニバーサル上映補助金

「みやこユニバーサル上映補助金」を設け、建物や、もののユニバーサルデザインと並んで大切な「情報のユニバーサルデザイン」として普及推進を図っています。また、補助を適用した上映については、京都市が作成したコマーシャルによりユニバーサル上映についてPRしています。

平成26年度実績は7件でした。(ユニバーサル上映について、顕著な功績のあった京都リップル様が平成19年度バリアフリー化推進功労者表彰(内閣府)を受賞しました。)



<上映のリハーサル風景>



<上映の様子>



<上映の様子>

出典：京都市ホームページ

※ユニバーサル上映：外国語が分からない方が字幕や日本語吹替えの助けを得て洋画を楽しむのと同じように、日本語字幕と場面ごとの状況を説明する音声ガイドを付与することで、視覚や聴覚に障害のある方や高齢者等も含めて、みんなで一緒に身近な娯楽である映画を楽しめるようにしたものです。

## 6 消費者への啓発

一般消費者を対象に、誰もが利用しやすい店舗、商品にするための視点及びサービス等を受ける側として消費者の役割等について学ぶ講座を開催し、消費者の観点からのよりよいサービス提供のあり方についての喚起を図っています。

(平成26年度 講演：「誰もが楽しめるユニバーサルデザインの世界～心のバリアフリーで京都観光のおもてなしへ～」とユニバーサル上映)